

# 図書館だより

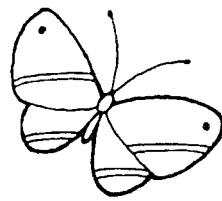
## 4月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○印 休館日  
月曜日、祝日(29日)  
月末館内整理日(30日)

満月に目をみひらいて花こぶし  
天寒く花の遊べる真夜かな  
飯田龍太句集「百戸の谿」

春の夜の真白な大きな辛夷の花  
底の知れない天の深さの中、真夜  
の月光が、花に酷々と射している。  
どちらも四月の夜空の中に咲く花  
の印象のすばらしさ。



### ◆ 今月の新刊図書のご案内

◆ 一般図書  
新聞記者を取材した 斎藤茂男  
ころの処方箋 河合隼雄  
儒教三千年 陣 舜臣  
大地の教え オスマン・サンコン  
世紀末への発進 落合信彦  
図説日本人の生活時間 NHK

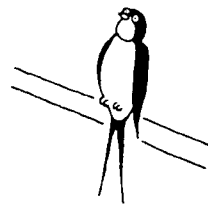
柳田国男の民俗学 福田アジオ  
親ばなれできないかもしれない症  
候群 宮子あずさ  
玲子さんの憧れ未完成 西村玲子  
暮らしたの安全白書 学陽書房  
家庭の味特選おすし113家の光  
四季の英国紅茶 出口保夫  
男のための一流品 講談社  
絹の道から大和へ 平山郁夫  
茶道具の用と美 淡交社  
伝統こけしとみちのくの旅講談社  
王朝女流歌人抄 清水好子  
北の国から92集立ち 倉本 聡



花のもとにて 堀田あけみ  
楽天記 古井由吉  
元号の還暦 陣 舜臣  
ワトソン氏を殺すP・マシーセン  
晩秋 ロバート・B・パーカー  
メイン R・マッキヤモン  
モスクワの美しい人 V・エロイエーフ  
外一六八冊

### ◆ 児童図書

磁石が果実を甘くする?  
メカニック大図解・カメラ  
かこさとし・あそびの大字宙  
6〜10  
星座のおりがみ  
こっそりおてがみ  
なおとくんはるかちゃん  
かぎばあさんのことわざ教室  
天井裏のひみつ  
バレエダンサー 上・下  
危険な金曜日  
恐竜のけんきゅう



植木等と藤山寛美  
オリンポスの黄昏 田中光二  
人びとの光景 内海隆一郎  
二月二日ホテル 北方謙三  
グルノーブルの吹奏 松本清張  
鬼勘の娘 平岩弓枝  
ある八重子物語 井上ひさし  
ガラスの天井 辻 仁成  
長崎オランダ村物語 村上 龍  
姉の結婚 群ようこ  
天保六花撰 藤沢周平

外六十三冊

## 子どもの心シリーズ (34) 思春期 友だち

いよいよ小学校も中学校も入学式です。今までは中学生・高校生の性格について考えてきました。今回からは、学校生活との係わりで子どもの問題点を考えてみようと思います。特に親の対応のしかたについて書こうと思います。

中学校に入学したころ、小学生の時と違って、友だちがなくて一人で過ごす子がいます。これは思春期の友だちの選び方と、青年期の友だちの選び方では違うという事からきているのです。この選び方の変化は大人になるための大切な変化であると考える事です。

どのように変わるかというと、小学生の時は、家の近くだからとか、通学路が同じとか、教室で席が近いとかというように、身近な人を友だちに求めますが、中学生はそうではありません。自分の能力とか、性格、趣味というように自分で友だちをつくりたい。それは「自分の心によって友だちを選ぼう」ということではないでしょうか。中学生になっても小学生の時のような友だちの選び方をしている子もいますが、次第に自分の心に合った友だちを選びをするように変化して来ます。

自分の心に合った友だちを選びをするようになると、短い時間では選ぶことができないのです。特に複数の小学校の子どもの入学する中学校で

は、入学したからといってすぐに友だちができないのは当然です。友だちがなくて孤立しがちになったり、自分の世界に閉じこもる時もあるのです。

中学生が友だちを自分で選ぶためには、入学当初から学校に慣れるように親も、教師も配慮することです。しかし小学生の時には、慣れないときに親か教師が、このようにしたらという、しつこくでも従うものですが中学生になるとこのような指導には反発します。ですから親は学校に慣れないから友だちがないからといって焦らないことです。子どもに任せて遠くから見守る事が大切です。

思春期の子をもつ親は、友だちは子ども自身が選ぶものであることを、頭の中に入れておくことが大切です。「あの子はこのように悪いことをした子」だからつきあわせたくない、というように考えてはいけません。自分の子はこのような子だから、この友だちを選んだと考えることです。親の考えで、あの子は成績が良いから、教育的な家の子だから、性質が良いからなど友だちを選ぶ条件や、枠をつくって友だちを選ばせてはいけません。友だちを選ぶという事です。そして子どもに友だちができたなら、家庭ぐるみで付き合えるように配慮したいものです。友だち選びに条件や、枠を付けることによって、子どもは孤立してしまいます。

教育相談室

(43)1111

内線 216